

『田舎暮らしの本』が発表!

## 2022年版 第10回「住みたい田舎」ベストランキング

【若者世代部門】を、  
単身者増加に伴い…【若者世代・単身者部門】に改定!

## 【Topics】

- ①大分県豊後高田市が、10年連続ベスト3入りの快挙を達成
- ②シニアへのサポートが手厚い秋田県秋田市が初の1位を獲得!

雑誌販売部数トップシェア(※)の株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)が発行する月刊誌『田舎暮らしの本』は、2022年1月4日(火)発売の2月号で、「2022年版 第10回住みたい田舎ベストランキング」を発表します。

「住みたい田舎ベストランキング」は、“日本で唯一”の田舎暮らしを紹介する月刊誌『田舎暮らしの本』が2013年2月号より毎年実施しているランキングで、今回で10回目を迎えました。移住定住の促進に積極的な市町村を対象に、移住支援策、医療、子育て、自然環境、就労支援、移住者数などを含む276項目のアンケートを実施。751の自治体からいただいた回答をもとに、田舎暮らしの魅力を数値化し、ランキング形式で紹介しています。

読者が移住を考える際、希望するまちの情報を規模ごとに選択できるよう、今年には人口別に5つのグループに分けてランキングを実施しました。また、人口によって自治体が持つ課題が異なり、強みとなる施策も変わるため、人口規模の近いまちで分けてランキングを作成することで、より公平性が図れたと考えています。さらに、日本では単身者が増加しており、単身で移住する人や、地方移住へ関心を持つ単身者も増加していると考え、従来までの【若者世代部門】を【若者世代・単身者部門】に変更。世代によって多岐にわたるニーズに対応できるよう改定しました。

「人口1万人以上3万人未満のまち」では大分県豊後高田市が【若者世代・単身者部門】【子育て世代部門】【シニア世代部門】1位の3冠で10年連続ベスト3入りを達成。173項目もの支援で全世代の支持を集め、まさに全国有数の移住先進地といえます。「人口20万人以上のまち」では秋田県秋田市が【シニア世代部門】で初の1位を獲得。高齢者に優しい都市を目指しており、緊急時の通報システムなど、シニア層に向けた手厚いサポートを実施しています。また、秋田駅周辺はマンション建設が進み、駅近住まいがシニア世代に人気です。

さらに今年には、全国を12に分けたエリア別ランキングでも【若者世代・単身者部門】【子育て世代部門】【シニア世代部門】の3部門を発表しています。

ランキング情報の使用や編集長の取材も可能ですので、ぜひお問い合わせいただければ幸いです。

※日本ABC協会 雑誌発行人レポート2021年上半年(1~6月)より

※本ランキング情報掲載時は、  
宝島社『田舎暮らしの本』2月号、「2022年版 住みたい田舎ベストランキング」と必ずご明記ください。



『田舎暮らしの本』2022年2月号  
2022年1月4日(火)発売/特別定価:850円(税込)

## ◆『田舎暮らしの本』

1987年に創刊した“日本で唯一”の田舎暮らしを紹介する月刊誌です。全国各地の物件情報や、田舎暮らしに必要なハウツーを紹介。お仕事情報など、実際の移住者レポートを交え、田舎暮らしに役立つ具体的な情報を発信しています。2013年2月号から「住みたい田舎ベストランキング」を発表。



『田舎暮らしの本』編集長  
柳 順一(やなぎ・じゅんいち)

今回は、昨年の645を大幅に上回る751市町村から回答いただきました。移住者数の伸びを尋ねる設問では、「昨年度より上回っている印象」が「少ない印象」の2倍以上、移住相談件数は4倍以上でした。取材現場では、単身の移住者に会う機会が増えています。そこで従来の「若者世代」部門を「若者世代・単身者部門」に変更し、ニーズに応えました。本格化する地方移住の動きを、『田舎暮らしの本』と『田舎暮らしの本Web』で強力に後押ししてまいります。

## 2022年版 第10回「住みたい田舎ベストランキング」

人口別に5グループに分けて、世代別の3部門を発表！

## ■1万人未満のまち

各部門ベスト55位

## ■1万人以上3万人未満のまち

各部門ベスト65位

## ■3万人以上5万人未満のまち

各部門ベスト55位

## ■5万人以上20万人未満のまち

各部門ベスト48位

## ■20万人以上のまち

各部門ベスト12位

【若者世代・単身者部門】 【子育て世代部門】 【シニア世代部門】

## ★人口1万人未満のまち

若者世代・単身者が  
住みたいまち部門子育て世代が  
住みたいまち部門シニア世代が  
住みたいまち部門

👑 **第1位 北海道沼田町**  
第2位 島根県飯南町  
第3位 長野県宮田村

👑 **第1位 島根県飯南町**  
第2位 北海道沼田町  
第3位 長野県宮田村

👑 **第1位 北海道沼田町**  
第2位 島根県飯南町  
第3位 長野県木島平村

## 北海道沼田町 住みやすさのポイント！

- 旭川は生活圈。札幌は日帰り圏
- 役場、学校、駅などが500m圏内のコンパクトタウン
- 妊娠・出産、子育て、教育に手厚い支援
- 住宅取得の助成が充実

## 島根県飯南町 住みやすさのポイント！

- 夏は比較的涼しく、冬は山手でスキーが楽しめる高原のまち
- 出産から育児、教育関連まで、絶え間ない子育て支援を提供
- 25年間の賃貸後に所有権を譲渡する定住促進賃貸住宅など多様な住宅支援

## 沼田町まるごと楽園化！

「子育て満足度日本一」を目指し、高校生まで医療費無償化や出産祝い金の支給、子ども1人にブランド米「雪中米」1俵の贈呈など、沼田町だからできる独自の制度も年々進化しています。ホテルや化石、北海道唯一の喧嘩あんどん祭り「夜高（ようたか）あんどん祭り」などオンリーワン資源を宝に変え、楽園づくりに取り組んでいますので、魅力いっぱい北海道沼田町をのぞいてみてください！

ぬまたちよう  
沼田町長  
よこやましげる  
横山 茂氏  
コメント

いいなんちよう  
飯南町長  
つかはらたかあき  
塚原隆昭氏  
コメント

## 多角的な支援を設けて子育てを応援しています

人口1万人未満のまち部門「子育て世代が住みたいまち」第1位を受賞し、大変うれしく思います。飯南町では「子どもたちの声が聞こえるまちづくり」を重点的な政策として位置づけ、子育てしやすい環境づくりと、まちぐるみの教育推進に取り組んできました。これからも子育て世帯向けの住宅整備や保育料完全無償化、ICT教育の推進などで、まちを挙げて子育てを応援します。

## ★人口1万人以上3万人未満のまち

若者世代・単身者が  
住みたいまち部門

- 👑 **第1位 大分県豊後高田市**  
第2位 鳥取県琴浦町  
第3位 長野県飯山市

子育て世代が  
住みたいまち部門

- 👑 **第1位 大分県豊後高田市**  
第2位 鳥取県琴浦町  
第3位 大分県国東市

シニア世代が  
住みたいまち部門

- 👑 **第1位 大分県豊後高田市**  
第2位 兵庫県朝来市  
第3位 長野県飯山市

### 大分県豊後高田市 住みやすさのポイント！

- 173項目の移住・定住支援で、子どもからシニア世代まで住みよい環境を提供
- 楽しい暮らしサポーターズ事務局や、NPO法人アンジュ・ママンをはじめ、市民による活動が盛ん
- 千年の歴史と仏教文化が彩る国東半島に位置し、泉質の異なる6カ所の温泉も

・10年連続ベスト3入り  
・2年連続全部門1位！

### すべての世代が住みやすく子育てしやすい環境が自慢

これまで「高校生までの医療費無料化」「中学生までの給食費無料化」をはじめとする子育て支援や、「学びの21世紀塾」などの教育環境、移住者向けの定住促進無償宅地などを整備してきました。また「玉津プラチナ通り」では、高齢者が楽しいまちづくりにも取り組んでいます。今後とも、誰もが安心して暮らせるまち、子どもたちの笑い声が聞こえるまちの実現に向け、スピード感をもってまちづくりを推進してまいります。

ふんごたかだし  
豊後高田市長  
ささきとしお  
佐々木敏夫氏  
コメント

## ★人口3万人以上5万人未満のまち

若者世代・単身者が  
住みたいまち部門

- 👑 **第1位 島根県雲南市**  
第2位 大分県臼杵市  
第3位 千葉県いすみ市

子育て世代が  
住みたいまち部門

- 👑 **第1位 島根県雲南市**  
第2位 大分県臼杵市  
第3位 茨城県常陸太田市

シニア世代が  
住みたいまち部門

- 👑 **第1位 大分県臼杵市**  
第2位 島根県雲南市  
第3位 岡山県笠岡市

### 島根県雲南市 住みやすさのポイント！

- 県都の松江市や出雲大神宮のある出雲市へ車で30分ほど、都市部に近接
- 古墳や出雲神話にちなんだ名所が点在し、日常的なかで古代ロマンに触れられる
- 子どもから大人まで「チャレンジしやすさ日本一」の環境整備に取り組んでいる

### 大分県臼杵市 住みやすさのポイント！

- 海と山が迫る自然環境と、国宝の臼杵石仏や城下町の面影を残している歴史・文化が共存
- ユネスコ創造都市ネットワークに加盟認定された、多彩で豊かな食文化を守り継ぐ
- ITを活用してカード1枚で地域医療・介護・保健情報が連携できる、独自のシステムを確立

### 子育てするなら雲南市！ チャレンジしやすさは日本一

魅力の1つとして、子どもたちの元気なからだづくりを応援するための給食は、お米と牛乳は100%地元産でまかない、地元の新鮮な野菜をたっぷり使ったメニューを提供しています。また、若い方がたによるチャレンジが活発化しており、その環境づくりにも力を注いでいます。四季折々に素晴らしい景色があり、子育てや若者の挑戦に優しい、ちょうどいい田舎の雲南市で暮らしてみませんか。

うんなんし  
雲南市長  
いしとびあつし  
石飛厚志氏  
コメント

うすきし  
臼杵市長  
なかのごろう  
中野五郎氏  
コメント

### 独自の食文化を守りながら世代を問わず住みよいまちへ

臼杵市では、発酵・醸造などの食に関する歴史と伝統、有機農業の取り組みなどが評価され、昨年11月にユネスコ創造都市ネットワーク食文化分野で加盟認定を受けました。今後は、これまで以上に「臼杵の食」を大事にしなが、若者世代・単身者の部門や子育て世代の部門でも1位を目指し、臼杵に移住して本当によかったと言ってもらえるように、引き続き移住・定住支援を充実させていきます。



## ★人口5万人以上20万人未満のまち

若者世代・単身者が  
住みたいまち部門

- 👑 **第1位 愛媛県西条市**  
第2位 愛媛県今治市  
第3位 大分県日田市

### 愛媛県今治市 住みやすさのポイント！

- 飛行機と車で東京へ約3時間半！しまなみ海道経由で福山から新幹線も利用可能、大阪は日帰り圏内！
- 県立病院や大型量販店、ショッピングモールなど、市街地には生活に必要な施設がコンパクトに集積
- 郊外や島しょ部でも、温かいご近所付き合いで不便さをカバー。昨年からは島しょ部の子育てや教育機関を支援する施策も登場！

子育て世代が  
住みたいまち部門

- 👑 **第1位 愛媛県今治市**  
第2位 愛媛県西条市  
第3位 大分県宇佐市

### 愛媛県西条市 住みやすさのポイント！

- 「起業型地域おこし協力隊」など、若者のチャレンジ（起業）を応援
- 西日本最高峰石鎚山や加茂川の清流、瀬戸内海などアウトドアスポットの宝庫。公共スポーツ施設も充実！
- 天然水が豊富。市内の一部地域では、上水道ではなく「うちぬき」と呼ばれる湧水を利用

シニア世代が  
住みたいまち部門

- 👑 **第1位 愛媛県今治市**  
第2位 愛媛県西条市  
第3位 大分県宇佐市

### 「市民が真ん中」を理念に、より子どもを産み育てやすい環境へ！

「子育て世代部門」と「シニア世代部門」で移住したいまち1位にお選びいただき、たいへん光栄です。市長に就任して以来、「市民が真ん中」を理念に掲げ、子どもを産み育てやすい環境の充実に、力点を置いて取り組んでまいりました。今治市は、瀬戸内海の海岸線と里の風景がたいへん美しく、四国随一の工業都市として雇用も安定しています。ぜひ、今治に移住しませんか？お待ちしております。

いまばりし  
今治市長  
とくながしげき  
徳永繁樹氏  
コメント

さいじょうし  
西条市長  
たまいとしひさ  
玉井敏久氏  
コメント

### 多様な働き方が実現可能。若い人のチャレンジを応援します！

若者部門で3年連続1位と評価をいただきたいへん光栄です。西条市は、会社員だけでなく、自営や起業、農業、テレワークなど多様な働き方を求める人にも優しく、自然豊かなほどよいまちであり、人気のアウトドアやアクティビティも充実しています。若い人がチャレンジできるまちとして、人のつながりを重視したサポートも行っておりますので、ぜひ西条で理想の暮らしを実現してみませんか？

## ★人口20万人以上のまち

若者世代・単身者が  
住みたいまち部門

- 👑 **第1位 静岡県静岡市**  
第2位 秋田県秋田市  
第3位 大分県大分市

### 静岡県静岡市 住みやすさのポイント！

- 新幹線を使えば東京へ最速1時間。バス路線も多く、毎日の通勤が可能
- 便利な市街地から少し離れば海・山が満喫できる。食べ物もおいしい
- 教育・保育の選択肢が多く、周囲の人も温かい。子どもがのびのび育つ環境

子育て世代が  
住みたいまち部門

- 👑 **第1位 静岡県静岡市**  
第2位 福岡県北九州市  
第3位 秋田県秋田市

### 秋田県秋田市 住みやすさのポイント！

- 四季の変化がはっきりと感じられ、夏は涼しく冬は雪が比較的少ない。文化施設や美術館、山、川、海などの自然環境が身近にある
- 医療機関、福祉施設、買い物施設などがバランスよく立地しており、犯罪件数や自然災害も少ない安心・安全な環境
- 高齢者に向けたコインバス、緊急時の通報システム、暮らしに関する講座の開催など官民一体となって充実のサポートを用意

シニア世代が  
住みたいまち部門

- 👑 **第1位 秋田県秋田市**  
第2位 福岡県北九州市  
第3位 静岡県静岡市

### 都市機能と自然を併せ持つまち。気候も人柄も「あったかい」です

政令指定都市ならではの都市機能を有しながら、車で15分も走れば自然に触れられるコンパクトシティです。移住者の方からは「気候も人もあったかい」と声をいただきます。東京・有楽町のふるさと帰省支援センターに市単独で初めて移住相談窓口を設置するなど移住支援に力を入れてきました。東京と静岡の相談員が理想の暮らしに向けサポートします。

しずおかし  
静岡市長  
たなへのぶひろ  
田辺信宏氏  
コメント

あきたし  
秋田市長  
ほつみもとむ  
穂積 志氏  
コメント

### 自然豊かな芸術文化の拠点。シニア世代に優しいまちです

秋田駅周辺はマンション建設が進み、駅近住まいがシニア世代に人気です。駅からほど近い「千秋公園」は、サクラやお堀のハスが美しい名勝であり、2022年6月開館予定の「あきた芸術劇場」をはじめ、多くの文化施設を有する芸術文化の拠点でもあります。四季の移ろいを感じられる豊かな自然と、地方都市の利便性が調和した「ちょうどいい」秋田市暮らしを始めてみませんか。